

1. 教育活動の趣旨

三菱 UFJ トラストビジネス株式会社は、三菱 UFJ ファイナンシャルグループ傘下にある三菱 UFJ 信託銀行の子会社であり、おもに同行の事務受託を行っている。信託銀行は金融にとどまらず様々な分野を手がけており、業界においてユニークな地位を占めているが、当社にはそうしたさまざまな分野の経験者が出向、転籍という形で在籍している。こうした経験者を中心に、信託銀行がその業務を通じて果たしている金融の役割を一般の受講者にも理解してもらい機会を提供してみたい、という希望があり、その趣旨と情熱に賛同して集まった社内外の講師によって一連の講義を組成したものである。

2. 2011 年度開講内容及び目標と課題

2011 年度は最初の開講であり、信託銀行の関わる分野の中から 3 分野を採り上げ、市場運用に関する分野から4講義、金融と危機管理に関する分野から 5 講義、社会的ニーズの広がりに関する分野から 5 講義に加えて最後にまとめを行い、合計 15 講義を行う。講師はそれぞれのテーマにおける経験者を選び、計13人が担当する。

これらの講義を通して色々な分野において金融が担う役割を、抽象論でなく実務に基づいた観点から受講者の理解を深めることを目標とし、その上で社会・企業と信託銀行を中心とした金融の関わり方を受講者とともに考えて行きたい。

3. 抱負・課題

金融の果たす役割はますます拡大しており、例えばデリバティブを使用することにより、それまでは提供できなかったような新しい形での運用商品や調達手段を生み出している。しかしながら一方では、リスク管理が追いつかず、リーマンショックのように過大なリスクが生み出す負のインパクトにより世界規模での金融恐慌を引き起こすような事態も起きている。

今回の講義においては、金融機関としての本来の業務である与信に限らず、証券市場、資産運用、年金、不動産、相続など幅広い分野での信託銀行業務に携わる講師の目を通して、金融を色々な角度から分析し、その果たすべき役割を探っていく。

第 1 回目の開講であり、講師も多分野、多人数にわたるため講義の進行方法や内容が統一されない可能性はあるが、一般的理論にとどまらない内容を作り上げて行きたいと考えている。